

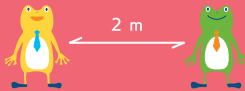
# たちばな

2020.10.1

移動や外出は  
“密”を避けて



会話や食事は  
十分な距離を



体調が悪い日は  
無理せず休もう



身の回りを  
こまめに消毒



こまめな換気で  
きれいな空気を



目鼻口を  
さわらない



咳やくしゃみは  
エチケットを



うがい手洗い  
念入りに



(画像提供：ユニファースト株式会社)



現在、新型コロナウイルス感染症対策に伴い学外関係者の大学施設利用を原則禁止とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症に伴う対応につきましては大学公式ホームページ (<http://www.ris.ac.jp/>)にて随時公開しております。



立正大学校友会  
Facebook



立正大学校友会  
公式LINEアカウント  
【新規開設】

# 『新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援資金』 へのご賛同のお願い

立正大学学園開校150周年記念事業募金『学生・生徒への支援金』へ  
皆様のお力をお貸しください

現在、世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は終息の気配が見えず、日本も未曾有の難局に直面しています。

本学園では、感染症拡大を鑑み、大学では第1期の授業をオンラインによる授業形式に移行するための授業環境整備として教育サーバー増強、オンライン会議システムの使用ライセンス調達等を行いました。さらに家計支持者の失業や収入減、あるいは学生自身のアルバイト機会の喪失等を含め、学修の継続に困窮を極める学生・生徒が多数想定されたことから、「修学支援特別奨学金」の給付や学費納入期限の延長をはじめとする、6億円規模の施策を実施いたしました。

しかしながら、状況が一変した社会生活が好転するには相当の時間を要するともいわれており、将来を見

据えた新しい教育環境の整備とともに、学生・生徒の学びを中長期的な視点で支えていくことが必要不可欠となっております。

本学園では現在立正大学学園開校150周年記念事業募金の募集項目に掲げる「奨学金制度の拡充」をさらに発展させた支援の輪を広げて参りたいと考えております。

つきましては、教職員や校友の皆様方をはじめとして、個人・団体・法人の関係各位より、この支援金を通じて本学園学生・生徒へ力強いご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

学校法人立正大学学園  
理事長 望月 兼雄

## 募 金 要 項

- 総事業費／150億円
- 募 金 名 称／学校法人立正大学学園 開校150周年記念事業募金
- 募 金 目 的／150周年記念事業の実施に要する資金調達のため
- 募金目標額／15億円
- 1口あたりの寄付金額  
個人：学生3千円、一般1万円  
(金額の多寡にかかわらず1口以下でも有り難くお受けいたします。また、複数口でのご協力もお願いできれば幸いです。)
- 法人(企業・団体等)：定めず
- 募集期間 2018年1月～2023年10月末日

●ご寄付の手続き方法

①申し込み及び振込（払込）方法について

**個人の方の場合**

▶金融機関からの振込  
10月の学園新聞に同封いたしました振込（払込）用紙の所定事項をご記入の上、下記指定金融機関にてお振込ください。

▶インターネットによる申込  
クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーから決済方法を選択できます。詳しくは立正大学ホームページをご覧ください。  
<http://www.ris.ac.jp/150th/>

**会社等法人の方の場合**

▶振込（払込）用紙は、個人の方と共通です

①「受配者指定寄付金制度」をご利用の場合  
寄付申込書が必要となりますので、<http://www.ris.ac.jp/150th/>よりダウンロードしていただくか、立正大学 総務部総務課へお問合せください。

②「特定公益増進法人に対する寄付金」をご利用の場合  
寄付の手続き方法は個人の方の場合と同じです。

②指定金融機関

- りそな銀行 五反田支店 普通 0884453
- 三井住友銀行 五反田支店 普通 8645803
- 三菱UFJ銀行 五反田駅前支店 普通 3061270
- ゆうちょ銀行 00160-6-293089



払込取扱票（見本）

税制上の優遇措置

本寄付は、寄付金控除の対象です。

学校法人立正大学学園は、文部科学省より特定公益増進法人および税額控除対象法人の両方の証明を受けており、本学園に寄付をした場合には、確定申告を行うことによって税制上の優遇措置を受けることができます。

※インターネットによる寄付の場合、寄付金の受領日は収納機関から本学園へ入金された日となり、「寄付金受領証明書」等の発送がお申込みされた日から2~3ヶ月を要することがあります。

■お問合せ先

学校法人立正大学学園 立正大学 総務部総務課  
〒141-8602 品川区大崎4-2-16 TEL 03-3492-2681  
E-mail [gen@ris.ac.jp](mailto:gen@ris.ac.jp)  
開校150周年記念サイト <http://www.ris.ac.jp/150th/>



## 令和2年度 校友会主催保護者懇談会開催中止のお知らせ

令和2年度立正大学校友会主催保護者懇談会につきまして、保護者の皆様へ別途書面でもご報告をさせて頂いておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の終息が中々見込めないため、今年度につきましては、対面での開催を中止とさせていただきます。対面での開催に向け、多々検討を行ってまいりましたが、ご参加頂きます保護者の皆様のご健康と安全・安心の確保が難しい状況であることから、今回の決定とさせていただきます。

なお、対面での保護者懇談会に替えまして、少しでも保護者の皆様にお役立て頂ければと思い、保護者のための就職講座の動画配信、カウンセラー講座の資料配布、面談に替わる相談窓口を開設いたしました。すでに別紙にてご案内をしております【Web保護者懇談会公開について】をご確認いただき、各コンテンツにつきましてご活用いただければ幸いです。

## 令和2年度 ホームカミングデー in 橘花祭開催中止のお知らせ

例年、橘花祭開催日に合わせて開催をしております、『ホームカミングデー in 橘花祭』につきまして、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、来場者の皆様のご健康と安全・安心の確保が難しいため、今年度の橘花祭開催が中止となりましたので合わせてホームカミングデーの開催につきましても中止とさせていただきます。

例年、ご参加頂き楽しみにして頂いております皆様には大変申し訳ございません。

次年度以降、新型コロナウイルスが終息したのちに、皆さんに楽しんで頂けます内容にて開催させていただきます。

何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



令和元年度 立正大学校友会事業報告 (期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業	内容
会議	第1回(4月17日) 校友会役員、監査報告、校友会事業報告、決算報告、学生支援事業実施報告、構成団体事業報告報告・決算報告、校友会事業計画・予算追認、特別助成検討会
	第2回(7月10日) 同窓会・橋会役員交代承認、郵政会決算報告、校友会第1期奨学生採用選考、校友会講演会・同窓会総会報告、同窓会物故者法要報告、橋会総会報告、ホームカミングデーについて
	第3回(12月11日) 校友会第2期奨学生採用選考、大学院研究奨励金採用選考、令和2年度保護者懇談会日程(案)、生涯メールサービ利用規約について、校友会補正予算報告、ホームカミングデー開催報告
	第4回(1月15日) 校友会予算消化状況報告、構成団体予算消化状況報告、校友会事業計画(案)・予算(案)承認 次年度校友会開催日程検討
	臨時(3月18日) 成績優秀奨学生採用選考、校友会予算案確認 *新型コロナウイルス拡大防止等の対応から中止となり、郵送での資料送付・承認を行った。
校友会主催講演会	6月22日(土) ホテル雅叙園東京(令和元年度立正大学同窓会定期総会と合同開催) 記念講演：「車椅子の視点から見える社会」石川ミカ氏(立正大学職員) 大学同窓会定期総会 大学同窓会定期総会懇親会
校友の集い	11月3日(日) 品川キャンパス ホームカミングデー in 橋花祭 *橋花祭との同時開催 *同窓会・橋会・郵政会協働連携 ◆名誉教授倶楽部主催名誉教授による記念講演会「立正大学と私－挫折と幸運－」鍋澤幸雄名誉教授 ◆卒業生による立笑(正)点寄席古今亭菊龍氏・古今亭志ん五氏・三遊亭神楽氏・三遊亭鳳笑氏 ◆大学近隣企業による物販販売パーティルス：リಂಗコクテル中小企業家同友会、ダイワロイヤルホテル物販 ◆古書資料館見学ツアー ◆大学歴史パネル展示・説明会 ◆橋会就職報告会 ◆教職課程・社会教育ラウンジ-OBOG現役学生交流会 ◆来場者用キッズルーム ◆大学安置祖師像ご開帳(仏教学部同窓会主催) ◆経営学部村井ゼミフロレスタダ越銀座店動物ドーナツ販売 ◆ホームカミングデー懇親会(経営学部同窓会共催) ◆同窓会主催地方物産展立正マルシェ ◆キッチンカーによるピザ販売
保護者懇談会	全国13会場での開催(同窓会合同開催地域あり) 在校生保護者に向けて、キャンパスと全国地域会場で大学紹介・就職講座および相談、個人面談を実施 ◆6月9日(日) 品川キャンパス 413名 ◆6月30日(日) 新潟県長岡市(同窓会合同) 27名 ◆7月13日(土) 福岡県小倉市(同窓会合同) 14名 ◆7月14日(日) 大阪府大阪市 14名 ◆7月21日(日) 徳島県徳島市(同窓会合同) 11名 ◆8月24日(土) 岩手県盛岡市 7名 ◆8月25日(日) 長野県長野市 7名 ◆9月15日(日) 熊谷キャンパス 184名 ◆9月28日(土) 広島県広島市 17名 ◆10月6日(日) 北海道札幌市 14名 ◆10月12日(土) 福島県福島市(同窓会合同) *台風の影響により中止 ◆10月12日(土) 静岡県静岡市 *台風の影響により中止 ◆12月8日(日) 品川キャンパス 194名
広報活動	校友会報「たちばな」 *大学同窓会情報 第41号(4月1日発行)・第42号(7月1日発行) 第43号(10月1日発行)・第44号(1月1日発行) 約90,000部 校友会ホームページ・フェイスブックの活用 保護者懇談会開催・報告、卒業生活動情報、校友会開催行事案内・報告、大学同窓会開催行事案内・報告、橋会活動案内・報告、郵政会開催行事案内・報告、大学150周年記念事業関連記事等随時更新対応 生涯メールサービス利用提供 校友の輪を広げ校友会活動活性化のため、卒業後に無償で利用できるメールサービスを提供。 今年度は利用状況調査を行い、1年以上使用が確認出来ない卒業生の方へ利用に関するご案内を発送約9,000件 校友会案内リーフレット作成・配付 入学式・卒業式、保護者懇談会、卒業生等の交流会、同窓会各種イベント・支部総会、橋会定期総会等で配布
在校生支援 同窓会との協働	入学記念品贈呈 校歌・学園歌入USB作成・贈呈(2,800個)*新入生ガイダンス時贈呈
	卒業記念品贈呈 黒水牛実印サイズ校章入・印鑑ケース付き作成・贈呈(2,800個)*学部卒業式・大学院修了式贈呈
	校友会奨学生 第1期：応募者 学部9名・大学院2名 採用：学部5名・大学院2名 第2期：応募者学部8名・大学院2名 採用：学部4名・大学院2名
	校友会成績優秀奨学生 100,000円・32名・3学年 各学部成績上位者へ授与
	校友会特別助成費 体育会排球部 700,000円、体育会射撃部 40,000円
	大学院研究奨励金 心理学研究科 1件 国内学術雑誌に掲載 30,000円
	奨励賞(橋会協働連携) 応募者：個人3件・団体2件 授賞：努力賞個人1件・選考委員会特別賞個人1件 計2件
	英会話ラウンジ助成事業 学部学生に英語教育を補助し国際的な人材育成を目的に、学事課・国際交流課と協力し講師委託を実施
	課外活動助成費 一般助成：特別助成 11,800,000円
	学園祭実行委員会助成 橋花祭実行委員会：2,400,000円・星霜祭実行委員会：2,400,000円
国際交流センター在校生支援事業費 1,500,000円(海外でのインターンシップ並びにボランティア活動等奨学金)	
会員情報管理	新卒者登録：令和元年3月新卒者および令和元年9月新卒者を登録 校友会会員システムの老朽化に伴う、新システムへの移行および改修作業進行中。 令和2年3月中に移行作業完了予定であったが、委託業者の作業遅滞により、4月以降でのシステム移行を検討中。
構成団体支援	構成団体助成費 校友会構成団体への大学からの助成金支援実施
	構成団体活動支援 橋会 総会・理事会・意見交換会・監査等会議の支援 同窓会 理事会・代議員会・総会、各種会議・物故者法要・他イベント等開催支援 同窓会地域卒業生校友の集い開催支援 郵政会、総会・学生向け講義等の活動支援 校友会委員会への同窓会・橋会・郵政会役員出席・意見交換等
	校友会B(卒業生会費)徴収対応 卒業生・現元教職員等への校友会費B振込依頼
その他	校友会委員会意見交換会 7月開催の校友会委員会後に開催 名誉教授倶楽部支援 定期総会、世話人会支援。ホームカミングデーでの名誉教授特別講演会開催実施 講師：鍋澤幸雄名誉教授

令和元年度立正大学校友会収支決算報告書  
(期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入の部

科目	令和元年度 当初予算	令和元年度 決算	増減
校友会予算	127,689,565	121,279,000	6,410,565

支出の部

科目	令和元年度 当初予算	令和元年度 決算	増減
福利厚生費	22,832,000	19,483,961	3,348,039
奨学費	31,800,000	30,430,000	1,370,000
補助費	30,500,000	28,240,000	2,260,000
人件費	700,466	578,110	122,356
旅費交通費	1,470,000	428,154	1,041,846
通信運搬費	8,963,000	10,327,026	△ 1,364,026
印刷製本費	10,218,260	8,301,592	1,916,668
手数料報酬	426,822	439,053	△ 12,231
コピー料	46,137	122,188	△ 76,051
委託費	8,762,880	7,003,151	1,759,729
公租公課費	20,000	4,000	16,000
雑給	500,000	722,442	△ 222,442
会議会合費	3,750,000	1,930,182	1,819,818
賃借料	5,700,000	694,600	5,005,400
合計	125,689,565	108,704,459	16,985,106
校友会積立金	2,000,000	2,000,000	0
余剰金	0	10,574,541	
総計	127,689,565	121,279,000	6,410,565

特記事項

- ①通信運搬費のうち卒業生向け校友会報・学園新聞発送経費7,500,000円は広報課予算へ移管済
- ②課外活動助成費11,800,000円、橘花祭・星霜祭実行委員会助成費4,800,000円は学生部へ移管済
- ③海外インターンシップならびにボランティア活動奨励金助成1,500,000円は国際交流課へ移管済

令和2年度 立正大学校友会収支予算書  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入の部

科目	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
校友会予算	128,120,000	127,689,565	430,435
収入合計	128,120,000	127,689,565	430,435

支出の部

科目	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	増減
福利厚生費	22,689,500	22,832,000	△ 142,500
奨学費	29,150,000	31,800,000	△ 2,650,000
補助費	30,725,000	30,500,000	225,000
人件費	668,220	700,466	△ 32,246
旅費交通費	1,025,000	1,470,000	△ 445,000
通信運搬費	8,644,800	8,963,000	△ 318,200
印刷製本費	10,312,000	10,218,260	93,740
手数料報酬	426,822	426,822	0
コピー料	46,137	46,137	0
委託費	7,398,200	8,762,880	△ 1,364,680
公租公課費	20,000	20,000	0
雑給	735,000	500,000	235,000
会議会合費	3,545,000	3,750,000	△ 205,000
賃借料	4,800,000	5,700,000	△ 900,000
合計	120,185,679	125,689,565	△ 5,503,886
校友会積立金	2,000,000	2,000,000	0
周年事業等 企画展等 開催積立金	1,000,000	0	1,000,000
余剰金	4,934,321	0	
総計	128,120,000	127,689,565	430,435

## 『学内散歩』 立正大学の伝統を想う

執筆者：立正大学特別荣誉教授 渡邊 寶陽

吉川洋学長が「立正大学の淵源は1580年」（天正8年）と口にされる。織田信長が自刃する数年前のことである。千葉県八日市場市丘陵の飯高檀林旧跡に平成元年頃「立正大学淵源の碑」が建立された。戦国乱世の京畿を避けて東国での教学研鑽を図って檀林が創建されたものか？全国から千人の学生を集めたが、明治政府の教育制度改革により廃檀となった。新居日薩は司法省・文部省勤務者の縁によって初代日蓮宗管長に就任。教学態勢の革新に尽力。門下の尽力や在家信徒の力によって、大学の伝統が維持された。

明治37年、専門学校令による日蓮宗大学林が文部省から認可された。慶応大学から米国「イエール大学大学院」に留学した柴田一能が、慶応大学の助力を得たという。（明治40年「日蓮宗大学」）その後、大正13年、旧制「立正大学」が認可。駒澤大学、大正大学はそれ以後の認可である。

昭和24年、新制大学に移行。通産大臣であった石橋湛山先生を学長に迎えたのは、昭和27年12月。（石橋湛山の父・杉田日布は第6代立正大学学長）日布は宗門関係の事情により、湛山を望月日謙に預けた。湛山は、日謙の長男日雄出生時、産湯を沸かした。石橋学長時代、森暁（NASステンレス社長）理事長のも

と、望月日雄が財務担当常務理事に就任。『体育館』・旧『二号館』を建築。（いずれも今は無い）双葉山などの縁での某金融機関の融資が背景にあったかとも思う。（望月常務は昭和34年身延山久遠寺・総務に就任。同年の伊勢湾台風災害の復興を図った）

大学は、その折々に政治の重圧を受ける。「工場等規正令」により、東京の都市部以外の場所に校地を求める事を促された昭和40年代に、及川真学理事長らの尽力によって「熊谷校地」12万坪ほどを求め、その後、石橋湛一の縁で、埼玉銀行を主力とした13の銀行の融資と、経済学部を中心とした学内の協力により、財政健全化を得たと聞く。

望月兼雄理事長は、日雄の孫だが、少年時代に印度の貧困社会の現実に遭遇。思春期の懊悩から脱却したという。後に津田塾大学の教授から放送大学の幹部に転じた人、埼玉医科大学の幹部となった人が、同行した家庭教師であったとか。望月理事長はあまり口数の多い方ではないが、世相を見つめる眼差しを持つと思う。「立正大学学園」が時代の荒波をどう乗り越えていくのか？吉川洋学長はじめ、理事・評議員・教職員・同窓生ら多くの方々と共に、責任を果たすことを期待する。（敬称略）



『立正大学発祥之地』の碑



1924（大正13）年頃 大崎校舎1号館

# 校友会費B等納入者芳名 (敬称略・県別苗字五十音順)

《令和元年12月1日～令和2年7月31日》

## ◆北海道◆

石井 美枝子  
伊東 正明  
稻垣 見穂  
合瀬 公景  
合瀬 元貴  
大山 元司  
岡元 鍊城  
奥田 勝昭  
川瀬 怜  
木村 (寛朋) 朋也  
小森 登  
近藤 真司  
今野 公一  
釈 英照  
釈 英義  
釈 ひかる  
杉本 覚  
永井 正光  
中川 浩一  
長坂 晃也  
中村 啓承  
西田 則夫  
久富 一夫  
廣瀬 恵伸  
廣瀬 恵清  
藤川 いく子  
宮崎 千博  
村椿 幸二

## ◆青森県◆

楠美 隆嗣  
工藤 義幸  
工藤 泰輝  
工藤 明  
齊藤 誠悦  
品田 均  
津軽 随至  
角田 堯淳  
間宮 康文  
溝口 和孝

## ◆岩手県◆

宇野 智謙  
小野寺 正典  
川村 均  
駒本 二郎  
佐藤 好勇  
島田 純恵  
田鎖 英明  
深井 憲昭  
藤原 耕道  
堀江 有子  
渡部 紀子

## ◆宮城県◆

阿部 邦英  
兼重 英忠  
坂巻 清  
櫻井 信也  
丹野 敬夫  
服部 正己  
松田 之宏

## ◆秋田県◆

赤川 真也  
伊藤 弥  
大木 卓子  
工藤 利典  
小西 雄  
佐々木 英憲  
菅原 勇一  
高橋 葵  
藤田 稔  
水野 聖和

## ◆福島県◆

浅野 不二男  
猪俣 浩  
大河原 勉  
太田 正孝  
菊田 悟  
小林 智厚  
小林 智英  
佐藤 優之介  
佐瀬 栄  
鈴木 秀風  
鈴木 務広  
永沼 直好  
橋本 諭一郎  
羽田 豊秋  
水添 博  
矢内 道男

## ◆茨城県◆

天谷 俊一  
荒川 洋平  
飯塚 恭孝  
泉 隆之  
植田 浩  
大竹 克巳  
大林 由美子  
軽部 操  
木村 浩二  
国谷 昭一郎  
小菅 大康  
五来 成寿  
佐藤 文昭  
佐藤 正人  
篠崎 一美  
柴田 幸二  
田口 茂  
遠山 智隆  
中澤 賢治  
中村 三喜  
長谷川 玄應  
蓬田 成男  
宮本 孝男

## ◆栃木県◆

青野 友子  
荒居 養雄  
安齊 薫  
小川 吉史

笠原 俊一  
川上 直美  
佐藤 清子  
須藤 進太郎  
西口 玄修  
早川 正人  
武藤 敏弘  
渡辺 正弘

## ◆群馬県◆

石坂 香澄  
岡部 健一  
小林 和夫  
佐藤 三春  
佐藤 智得  
佐藤 洋  
須田 雅行  
高瀬 得尋  
松井 雄三  
山田 慎介  
渡井 大貴

## ◆埼玉県◆

芦澤 賢士  
相原 伸司  
浅川 恵子  
飯島 孝之  
石川 利男  
石黒 誠  
石黒 淳明  
石松 明長  
井上 隆二  
井上 征英  
今井 一忠  
岩崎 晴典  
上野 千津子

## ◆千葉県◆

穴山 清一  
天目石 一也  
飯塚 通允  
池田 善久  
石井 栄寿  
石井 修一  
板橋 陽一郎  
大久保 康雄  
太田 典義  
大橋 一雄  
大森 俊栄  
尾形 勇  
岡野 久  
岡本 篤人  
小川 滋也  
奥嶋 信治  
影山 信雄  
片岡 邦雄  
加藤 貴史  
坂田 三允  
佐藤 弘道  
佐山 邦彦  
設楽 健士  
清水 海隆  
下田 雅之  
鈴木 敏子  
高橋 康司  
高橋 精一  
高山 則夫  
田島 美恵子  
田島 初雪

田中 一嘉  
田沼 博道  
田野口 和也  
塚越 道年  
時田 英二  
富岡 貴晃  
長嶋 義郎  
長嶋 めぐみ  
永田 榮計  
中根 邦夫  
長堀 明英  
二瓶 亮  
野辺 とに子  
橋本 友太  
半田 智志  
東山 徹  
樋口 景吉  
檜山 正夫  
逸見 光久  
松田 洋昭  
眞野 初  
三友 健容  
宮地 達宏  
村井 惇匡  
村木 学  
柳瀬 由次  
柳瀬 山本 亨  
横田 秀隆  
吉池 博子  
吉澤 寿子  
吉雷 明義  
鷲尾 祐善義  
渡辺 一郎

## ◆千葉県◆

穴山 清一  
天目石 一也  
飯塚 通允  
池田 善久  
石井 栄寿  
石井 修一  
板橋 陽一郎  
大久保 康雄  
太田 典義  
大橋 一雄  
大森 俊栄  
尾形 勇  
岡野 久  
岡本 篤人  
小川 滋也  
奥嶋 信治  
影山 信雄  
片岡 邦雄  
加藤 貴史  
坂田 三允  
佐藤 弘道  
佐山 邦彦  
設楽 健士  
清水 海隆  
下田 雅之  
鈴木 敏子  
高橋 康司  
高橋 精一  
高山 則夫  
田島 美恵子  
田島 初雪

笹川 薫  
佐藤 誠  
白井 道男  
鈴木 良知  
鈴木 秀明  
鈴野 佳子  
高橋 総仁  
田中 安人  
田中 貞真  
田中 貞獎  
田中 貞龍  
田邊 顕将  
丹治 恭子  
塚越 崇徳  
戸田 哲史  
永石 義雄  
中溝 正浩  
中村 廣己  
中村 二郎  
中山 光治  
南雲 博明  
庭田 純一  
根本 悦光  
原 秀明  
平松 芳文  
藤崎 宏道  
堀江 克浩  
松本 照朗  
水谷 和美  
三橋 信彦  
宮本 達也  
三好 茂隆  
室田 眞利  
森 玲悟  
安田 幹夫  
横山 幸永  
渡辺 照敏

## ◆東京都◆

相原 二三男  
赤塚 正坦  
赤塚 教兼  
朝比奈 貴晃  
東 信義  
天野 泰仁  
荒居 妙容  
安野 敏明  
飯塚 四郎  
井口 哲治  
井口 範英  
石井 三郎  
石井 富美子  
石川 恒彦  
石川 勲  
石川 信行  
市川 恵一  
伊藤 伸一  
伊藤 秀紀  
稲松 和子  
今村 泰子  
岩上 守男  
岩倉 宏  
岩本 順和  
児玉 俊常  
小川 善之  
齋藤 文太郎

大崎 百合子  
大塚 信美  
大野 高史  
近江 正典  
大谷 治  
大山 知児  
岡 昭治  
岡部 禎司  
岡部 光謙  
岡本 淳子  
小川 滋也  
風岡 稔  
加藤 淳  
加藤 敏男  
上村 裕  
川崎 厚子  
中川 守  
中川 守  
中木 秀基  
中沢 信一  
中村 妙子  
中村 信子  
中村 哲也  
中村 樹  
長屋 伸  
行木 克則  
西 義雄  
西山 英仁  
新渡戸 智純  
野口 達雄  
初見 達郎  
花島 省悟  
村 瑠美  
原田 忠彦  
樋口 功雄  
肥後 吉美  
彌 信道  
福田 良行  
福本 美子  
藤仲 貞男  
黒田 幾久  
古桑 リラ  
古田 信一朗  
星 弘道  
星野 顯聡  
堀口 貴行  
堀崎 宣伸  
篠崎 宣伸  
篠崎 康夫  
島野 隆行  
島村 勉  
志村 教鑑  
白井 和樹  
白沢 清  
杉野 武次郎  
杉村 大介  
鈴木 達明  
鈴木 良敬  
須藤 辰彦  
須藤 修一  
千田 昭弘  
高井 正廣  
高橋 純  
高橋 靖夫  
田上 伸一  
高村 弘毅  
高森 大乗  
瀧澤 裕之  
竹内 洋岳  
竹内 寛  
田土 佐知子  
棚岡 松夫  
田中 寛

田中 悦男  
谷藤 昌宗  
田村 菜穂子  
津村 正信  
津村 正康  
鶴田 洋一  
戸田 一誠  
富田 蓮右衛門  
外山 寛穂  
永井 啓文  
中川 守  
中木 秀基  
中沢 信一  
中村 妙子  
中村 信子  
中村 哲也  
中村 樹  
長屋 伸  
行木 克則  
西 義雄  
西山 英仁  
新渡戸 智純  
野口 達雄  
初見 達郎  
花島 省悟  
村 瑠美  
原田 忠彦  
樋口 功雄  
肥後 吉美  
彌 信道  
福田 良行  
福本 美子  
藤仲 貞男  
黒田 幾久  
古桑 リラ  
古田 信一朗  
星 弘道  
星野 顯聡  
堀口 貴行  
堀崎 宣伸  
篠崎 宣伸  
篠崎 康夫  
島野 隆行  
島村 勉  
志村 教鑑  
白井 和樹  
白沢 清  
杉野 武次郎  
杉村 大介  
鈴木 達明  
鈴木 良敬  
須藤 辰彦  
須藤 修一  
千田 昭弘  
高井 正廣  
高橋 純  
高橋 靖夫  
田上 伸一  
高村 弘毅  
高森 大乗  
瀧澤 裕之  
竹内 洋岳  
竹内 寛  
田土 佐知子  
棚岡 松夫  
田中 寛

## ◆神奈川県◆

相原 弘文  
浅井 慶信  
荒井 史子  
生垣 繁  
石塚 功二  
磯崎 和夫  
今井 優二  
入澤 充  
宇都宮 教要  
海野 慎治  
大谷地 清隆  
大山 良子  
園田 千穂  
小形 能広  
小川 浩正  
奥村 恵一  
奥山 純夫  
小田切 俊樹  
尾崎 光久  
海原 泰江  
加藤 和夫  
柿谷 正一  
加藤 成期  
加藤 薫  
金井 義博  
金子 竹成  
金子 元彦  
金 育煥  
楠山 泰延  
工藤 幸子  
倉多 亮修  
倉本 隆一  
黒田 昭司  
國府田 久遠  
國府田 佳音  
国府田 義昭  
小山岸 和子  
齋藤 良博  
齋藤 継弥  
坂下 継男  
坂本 文彦  
坂本 紀美子  
佐川 篤志  
提督 利男  
佐々木 義正  
佐藤 洋生  
佐藤 正好  
坂本 堯則  
渋谷 直孝  
鈴木 征  
鈴木 剛  
鈴木 太一郎  
鈴木 恒美  
須藤 教裕  
高橋 和宏  
高見 昌尊  
田川 貞光  
多賀 俊一  
竹内 成行  
津久井 秀樹  
辻井 綾子  
寺崎 圭  
徳原 圭祐  
内藤 潔  
長澤 隆大

## ◆新潟県◆

中西 本孝  
中原 健次  
中村 哲也  
中村 泰啓  
中山 茂  
西村 健  
二瓶 恵子  
根岸 和枝  
萩原 幸男  
春日 桃子  
肥田 泰敬  
平本 俊弘  
福室 克彦  
藤田 秀雄  
堀内 良明  
増田 幸静  
松村 三功  
丸島 光雄  
三宅 恵公  
森本 宏  
森井 茂  
森田 靖雄  
森田 喜久  
森本 宏  
八木下 孝美  
矢島 敏子  
山口 直人  
山下 博孝  
山本 佳夫  
山本 滋雄  
由本 健二郎  
横須賀 成良  
渡辺 木 謙次  
渡辺 英志

## ◆新潟県◆

秋山 文孝  
伊藤 久美  
遠藤 智昭  
小川 和俊  
風間 良光  
小林 義明  
小林 謙一  
駒形 敏朗  
佐藤 久美子  
松月 秀一  
白井 洋嘉  
鈴木 正喜  
諏訪 淳一  
田辺 円祥  
寺沢 正夫  
中町 理  
飛田 泰二  
宮澤 泰成  
村山 成明  
八木 好淳  
渡邊 謙治

## ◆富山県◆

井田 日豊  
草野 寛行  
清水 浩二  
多助 雄久  
多喜 正文  
中山 博昭  
鉢呂 福子



藤田 富士夫  
水島 正成  
南 幸博  
本林 弘吉  
森 俊夫  
山本 安奴  
山本 毅嗣

◆石川県◆  
井前 本康  
坂本 哲治  
永田 一孝  
山本 真世

◆福井県◆  
末富 攻  
森下 修  
殿原 徹男

◆山梨県◆  
秋山 湛真  
岩下 永  
野田 光智  
金丸 芳秀  
菊地 是宗  
小林 紀雄  
佐々木 延雄  
仲澤 浩祐  
仁林 欣也  
町田 英昭  
米木 義旺  
米山 徳彦  
渡辺 秀子

◆長野県◆  
石合 祐太  
大熊 英徳  
岡田 晴雄  
神田 孝夫  
倉石 康成  
小林 恵美子  
佐藤 幹弘  
遠山 裕利  
徳高 一久  
原田 健太  
望月 龍昇  
山本 潔  
吉江 隆  
渡邊 忠信

◆岐阜県◆  
井道 哲志  
立川 龍哉  
野田 勝彦  
矢野 忠臣

◆静岡県◆  
旭 日重  
安納 義勝  
伊藤 佳通  
伊藤 智光  
伊藤 哲  
大石 純厚  
太田 芳伸  
小口 昭宣  
加藤 真澄  
金原 日達  
狩野 吉利  
菊地 潔  
菊地 哲生  
木村 光正  
木村 政彦

清宮 是勇  
黒崎 政秀  
佐野 湛要  
杉村 綾亮  
鈴木 常由  
廣崎 本幸  
藤合 定義  
古田 芳郎  
保田 義彰  
矢田 多摩子  
渡辺 洋子

◆愛知県◆  
市川 潮浄  
石黒 泰良  
石原 俊彦  
伊藤 友謙  
久代 潮豊  
澤木 利氏  
関 輝夫  
服部 巧顕  
三浦 弘吾  
村瀬 章遠  
渡邊 考哲

◆三重県◆  
坂倉 浩二郎  
武藤 亮磨

◆滋賀県◆  
稲田 毅  
杉本 正光  
西河内 靖泰  
福山 賢修

◆京都府◆  
伊丹 栄彰  
佐藤 文則  
石田 良正  
谷口 真也  
中山 昭夫  
藤田 尚哉  
堀田 泰盛  
三木 天道

◆大阪府◆  
石川 義亮  
井上 茂  
岡部 泰鑑  
興田 敏夫  
加藤 淳真  
鈴木 日巧  
中西 誠  
長谷川 鳳秀  
服部 聖海

◆兵庫県◆  
安積 尚宏  
石堂 恵眼  
稲月 修  
稲葉 能持  
大上 雅紀  
河村 瑞栄  
北野 実  
小出 信篤  
小西 顕一郎  
是川 正子  
佐竹 英文  
末道 義隆  
鳥居 恵修  
中西 桂太郎  
日野 学哉

堀 豊明  
本間 昇  
増田 秀充  
三好 一行  
三好 能瑞  
山本 恵平  
横山 淳平

◆奈良県◆  
出沖 秀雄  
藤田 知久

◆和歌山県◆  
杉若 哲司  
中井 克樹  
西山 一亨  
堀 雄幸

◆鳥取県◆  
石谷 順一郎  
櫻尾 稔正  
岡田 信俊  
米原 繁樹

◆島根県◆  
蔵本 知宏  
土井 一顕  
永井 康隆  
永井 正智  
錦織 勳夫  
原田 宏  
堀江 楨正  
堀江 瑛正  
松井 忠弘  
三代 暢美

◆岡山県◆  
芥田 英賢  
石井 正宣  
石井 英徳  
大塚 容二  
衣笠 通亮  
国貞 琢之  
谷本 泰法  
禮上 隆志  
都守 哲慈  
練尾 哲志  
八木 大慈  
春名 政弘  
興田 拓佳  
松本 誠  
安井 智賢  
吉田 健次

◆広島県◆  
阿左美 猛  
大平 貴脩  
加藤 和久  
兼弘 一真  
木村 謙司  
小林 信行  
小松 教清  
河村 恵瑛  
佐々木 信之  
佐藤 元  
鹿内 要秀  
関口 一清  
高崎 昭文  
花本 耕治  
村上 壽孝  
室積 幸生  
矢吹 正直

◆山口県◆  
大庭 祥秀  
河上 桂子  
西嶋 好文  
林 幸功  
藤 いね子  
藤井 豊子  
松澤 隆

◆徳島県◆  
井馬 有輝  
大建 和久  
音瀬 泰彦  
須惠 泰正  
鈴木 宏  
藤原 学

◆香川県◆  
馬場 和夫  
石川 計夫  
町川 義晃

◆愛媛県◆  
大政 正文  
近藤 俊徳  
村口 泰則  
森 佳範

◆高知県◆  
片岡 敬方  
高橋 正和  
楡金 美彦  
浜田 俊人

◆福岡県◆  
上田 智良  
小河原 昌彦  
栗原 正典  
向野 正弘  
鈴木 陽一郎  
角田 勝洋  
刀襦 義弘  
成田 康彦  
藤井 宣志  
藤川 治良  
桃崎 英伸

◆佐賀県◆  
永石 義雄

◆長崎県◆  
合川 泰通  
合川 天心  
池永 恵神  
今川 亮生  
小畑 経英  
勝木 修二  
木寺 浩三  
佐藤 靖弘  
柴山 元帥  
永野 泰久  
橋本 周一  
堀田 泰淳  
堀田 泰基  
本田 重之  
村田 孝仁  
森 良昭  
山田 浩文

◆熊本県◆  
伊藤 一敏  
岡 裕二

加島 翼  
川口 慈教  
濱田 義正  
原 應仁  
山田 初喜

◆大分県◆  
岩尾 栄作  
菊池 明智

清松 敏秀  
佐藤 俊雄  
土岐 光  
久長 修治  
吉良 直

◆宮崎県◆  
菊地 英記  
清本 英義

瀬戸口 長経  
松野 蓮香  
森 新二

◆鹿児島県◆  
尾上 道雄  
長野 正勝  
兵頭 昌明  
平岡 正見

松林 清博  
森田 真吾

◆沖縄県◆  
大城 保夫  
小渡 敬一  
小橋川 春武  
渡具知 武和  
新垣 正則

久松 磯也  
前川 晋二

## 令和2年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約2,200件・6,600,000円のご協力を賜りました。

皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力を頂きました会費は、校友会成績優秀奨学生や入学・卒業記念品贈呈、課外活動助成等の在校生支援事業及び卒業生交流会費や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

令和2年度の校友会費Bにつきましても、下記表をご参照頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 令和2年度校友会費Bについて

会費	年会費
納入期間	2020年4月1日～2021年3月31日
納入回数	年会費のため、上記期間内1回
氏名掲載	校友会費Bをお振込頂きました方のお名前掲載に付きまして掲載を「許可する」、「許可しない」のご希望をお伺いしております。 お手数ではありますが、どちら一方へ〇印をお付け頂き、お振込下さいませようお願い申し上げます。なお記載が無い場合には原則として掲載を「許可いただいた」ものとして掲載させていただきますことをご了承ください。

振込用紙は前回4月発送時に同封のものをご利用下さい。  
振込用紙をご希望の方は学長室校友課までご連絡下さい。  
TEL: 03-3493-6673

# 立正大学同窓会の活動につきまして

立正大学同窓会 会長 齊藤 岐代未

日頃は、同窓会活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、熊本県を中心に九州地方などを襲った令和2年7月集中豪雨は、これまでの想定を上回る規模で各地に甚大な被害をもたらしました。被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々にご冥福をお祈り申し上げます。

今回の災害に際して、経済学部と群馬県、千葉県、埼玉県、東京都の各都県支部及びその支部に属する個人から熊本県支部へ義援金を送られました。これをきっかけにして熊本県支部は、在校生の親を含む地域の人々に協力を呼びかけ、さまざまな被災者支援を行ないました。熊本県支部では3台の車を用意し、被災者に支援物資を届けるなどのボランティア活動を行ないました。特に、「Team延壽院」は立正大学の旗を掲げた車で学童の送迎をし、大学の周知を図りました。このような災害時の学部・支部間あるいは支部と地域間の連携は、同窓生の団結力の強さを表しています。私たち立正大学同窓生は、災害時に限らず平素から広範囲に団結力を高める絆を深めていきたいものです。

さて、最近猛威を振っている新型コロナウイルスは、世界を変えそして物事の優先順位も変えました。新型コロナウイルスは医学的な意味での「病」のみならず、経済全体に対する「病」になっています。このような状況の中で、立正大学同窓会も大きな影響をうけました。6月下旬に同窓会定期総会を開催して皆様をお迎えする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況から、皆様へ感染を拡大させず、命を守ることを最優先とし、総会を中止する決定をさせていただきました。そこで、総会中止による情報不足を補うために、今回、皆様へ同窓会の現状につきましてお話をさせていただきます。

## 《同窓会活動の目的と活動について》

同窓会は、校友会費の一部と、同窓会での積立金によって運営され、立正大学発展への貢献、在校生への支援、地域社会との連携、会員相互の親睦や啓発を軸に活動しています。特に、都道府県支部は、同窓生の身近な存在としてバスによる史跡巡りや講演会、懇親会等々の年間行事を企画実施し、同窓生間の交流を深めるとともに、地域社会で大学をアピールする活動を行なっています。各種講演会やオープンカレッジでは、同窓生以外へも参加を働きかけ、大学と地域をつなぐ役割を担っています。今年度も各支部は多種多様な行事を企画しましたが、新型コロナウイルスの拡大により残念ながら延期・中止となりました。しかし、感染状況によっては復活する行事もあると思いますので、ホームページをご覧いただき各支部の活動を確認いただきたいと思います。参加してみたい行事や講演等につきましては、お気軽に行事開催の都道府県支部又は同窓会本部へお問い合わせください。お待ちしております。

## 《同窓会の取り組んでいる施策等について》

同窓会はいま改革に取り組んでいます。「在校生第一」「同窓会第一」「各支部の現場力第一」「スピード感・透明性重視」「伝統と革新の調和確保」の視点から、同窓会活動の基本に立ち返っての取り組みです。各支部・学部の費用と負担を最小化し、同窓会会員のご理解を得つつ在校生支援に重点をおいて、サービス水準

の見直しを含んだ効率化・合理化を進めています。また、同窓会発展のためには、「すべてのステークホルダーが創造性・柔軟性・決意をもって、これまでにはない形での（協力）「協働」をワンチームで進めていく」必要があるという視点からの改革です。ここで、私は「協働」という言葉を使いますが、それは「いかに会員をその気にさせるか」ということが非常に大事だという意味です。けっして「会員を誘導しよう」などと思いがったものではなく、会員自ら気付いていただき、同窓会活動に参画してワンチームで協働してもらうようにしていきたいと思っているのです。

以下、令和2年度の重要施策及び重点事項を中心に、同窓会活動の概略を申し上げます。

### ①各支部・学部への補助金（助成金）について

基本を維持しながら必要かつ可能な限り「新たな状況に即した対応をすること」を、各支部・学部を求める働きかけを行なっています。このため、各支部・学部への補助金（助成金）制度の改革をいたしました。

### ②地方物産展に関する取り組み

毎年、多くの同窓生にお越しいただいているホームカミングデイにおける「地方物産展」について、アンケート調査を行い、今後の方向性を含めた検討・改善案を検討しています。

### ③教職専門委員会の取り組み

この委員会は、立正大学在校生の教職への道を切りひらこうとするものです。学識経験者や現職の教員、いったん一区切りをつけた後なお教職現場に影響をお持ちの方など教職分野に関わる皆様に委員会に組織し、大学とともに協議を重ねております。当初は品川キャンパスだけでしたが、大学側の要請で熊谷キャンパスでも取り組むようにしました。教職専門委員会として在校生が持っている能力を十分発揮できるように実効性のあるサポートを重点的に取り組んでいます。

### ④地域連携の取り組み

新潟県支部からの提案をご紹介します。新潟県支部は、「強化スポーツ選手にお米を送り、体力をつけて頑張ってもらいたい」との趣旨から、作付けから生育管理、収穫までの作業を行っていただくよう、地元稲作農家さんと契約を結びました。収穫作業には在校生や同窓生が参加する地域連携の取り組みです。

### ⑤同窓会改革パワーアッププランとして女性委員会

子どもから在校生、同窓生、大学関係者、地域社会の方々など対象を広げた同窓会活動を展開しようとする取り組みです。現在は具体的な活動を展開しておりませんが、今後活動を開始しますので同窓生の積極的な参画と活発な活動を期待しているものです。

### ⑥活動中のプロジェクトチームについて

補助金使用内容のチェックを含め各種課題の調査検討を大学とともに取り組んでいます。この取り組みを通して、コスト削減や行事の簡素化、身近な活動の強化を目指しているものです。

以上が、同窓会がいま取り組んでいる事項となります。

同窓生の皆様には、引き続き同窓会活動にご理解、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

## 令和元年度立正大学同窓会事業報告書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業	内容
①定期総会	6月22日(土) ホテル雅叙園東京 第1部: 校友会主催講演会 第2部: 同窓会定期総会 第3部: 同窓会懇親会
②代議員会	5月11日(土) 品川キャンパス 平成30年度事業報告案・収支決算報告案・監査報告、令和元年度事業計画案・収支予算案 物故者法要について、ホームカミングデー in 橘花祭について、その他
会議	③理事会 第1回: 4月20日(土) 事業報告案、収支決算報告案、事業計画案、収支予算案、会議運営について、代議員会について 臨時: 5月11日(土) 会則改正案について 第2回: 7月27日(土) 定期総会開催報告、物故者法要開催報告、北信越・九州沖繩山口・徳島校友の集い開催報告 本部役員担当について、校友の集い担当について、支部総会出席者担当について、新日役員懇親会 臨時: 9月14日(土) 活性化答申について 第3回: 10月19日(土) 臨時理事会開催報告、総務・財務合同委員会報告、北東北・南東北校友の集い開催報告、教職委員会開催報告 ホームカミングデー in 橘花祭について、新制度支部・学部助成金について、令和2年度定期総会について 第4回: 2月22日(土) 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の為)
	④監査 第1回: 4月15日(月) 平成30年度決算監査 第2回: 11月28日(木) 令和元年度中間監査
	⑤総務委員会 第1回: 5月11日(土) 第2回: 7月27日(土) 第3回: 10月5日(土) 第4回: 11月23日(土) 第5回: 1月21日(火) 第6回: 1月25日(土)
	⑥財務委員会 第1回: 4月15日(月) 第2回: 7月27日(土) 第3回: 10月5日(土) 第4回: 11月23日(土) 第5回: 1月21日(火) 第6回: 1月25日(土)
	⑦広報委員会 第1回: 7月27日(土)
	⑧活性化会議・専門委員会 活性化会議: 第1回: 7月27日(土) 第2回: 10月5日(土) 第3回: 10月19日(土) 教職専門委員会: 第1回: 10月5日(土) 第2回: 1月11日(土)
	法要 立正大学物故者追善法要 6月12日(水) 品川キャンパス532教室
	講演会 校友会主催講演会 6月22日(土) ホテル雅叙園東京 (立正大学同窓会定期総会と同日開催) 演題: 車椅子の視点から見える社会 講師: 石川ミカ氏(本学職員)
広報活動	立正大学学園新聞・校友会報 「たちばな」*校友会との協働連携 立正大学学園新聞の発行および校友会報「たちばな」の発行と発送 校友会報「たちばな」No41号(4月1日発行) No42号(7月1日発行) No43号(10月1日発行) No44号(1月1日発行)
	校友会ホームページ・生涯メール・Facebook ①ホームページ・Facebookによる広報告知 ②生涯メールサービスによる情報提供サービス
	卒業生への広報活動 在校生・卒業生への広報活動 ①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス ③クラブ・サークル活動優勝、受賞時横断幕
校友会	11月3日(日) ホームカミングデー協働連携開催・運営協力 校友会・校友委員会の運営協働連携参加(第1回: 4月17日 第2回: 7月10日 第3回: 12月11日 第4回: 1月15日 臨時: 3月18日中止)
構成団体活動	学部同窓会・支部同窓会総会 学部同窓会・同窓会支部総会への協働連携開催・運営協力 齊藤会長(6/30北信越地域校友の集い・7/13九州沖繩山口地域校友の集い・8/24熊本県支部・8/31岡山県支部・9/7北海道支部・12/1東京多摩支部・2/8東京都・経済学部) 赤羽総務委員長(9/3香川県支部) 加茂総務副委員長(4/21福岡県支部・5/19埼玉県支部・5/26千葉県支部・6/2東京多摩支部・7/13九州沖繩山口地域校友の集い・7/21四国地域校友の集い・8/31岡山県支部・9/8新潟県支部・12/1東京多摩支部) 黒米総務委員(8/31福井県支部) 野呂広報委員(9/1栃木県支部) 佐藤財務委員長(8/24北東北地域校友の集い) 大森財務副委員長(9/7山形県支部) 茂木財務委員(8/24熊本県支部) 林課長(6/21仏教学部・9/7山形県支部・9/21岩手県支部・11/29仏教学部) 西岡元総務委員長(6/15宮城県支部) 三澤元総務委員(5/19埼玉県支部・5/25東京都支部)
	校友会 校友会・同窓会支部総会への協働連携開催・運営協力
在校生支援(大学・学園への援助を含む)	大学・学園への援助 学生支援 在校生支援(課外活動顕彰助成) その他 その他学生支援
会員情報管理	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用 新卒会員情報・既卒会員情報の更新および大学・校友会・同窓会協働連携利用 学園新聞・校友会報「たちばな」の発送および支部・学部・支部同窓会事業・活動への会員データ提供
その他	代議員制による同窓会運営 学部同窓会助成費・支部同窓会助成費 学部同窓会・支部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 会員親睦・交流・活動への支援協力 支部支部支援及支部活性化支援(立正大学同窓会校友の集い開催: 6/30(日) 長岡市、7/13(土) 小倉市、7/21(日) 徳島市、8/24(土) 盛岡市) 支部同窓会地域連合制の検討(四国をモデルケースに活性化に力を入れる)

## 令和元年度立正大学同窓会決算報告書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

収入の部 ※下記決算書は立正大学学園経理会計に基き作成。

科目	令和元年度当初予算	令和元年度決算	増減
構成団体助成費	24,500,000	24,500,000	0
預金利息金	10,000	20,864	▲ 10,864
雑収入・寄付金・募金	50,000	10,000	40,000
事業費収入	150,000	132,660	17,340
前年度繰越金	5,257,686	5,257,686	0
積立金繰入金	3,000,000	3,000,000	0
総計	32,967,686	32,921,210	46,476

### 支出の部

科目	令和元年度当初予算	令和元年度決算	増減
旅費交通費	5,700,000	5,164,509	535,491
会議会合費	3,374,000	2,616,502	757,498
通信運搬費	630,000	169,887	460,113
印刷製本費	780,000	607,702	172,298
委託費	1,090,000	1,002,000	88,000
手数料報酬	100,000	60,500	39,500
賃借料	80,000	78,480	1,520
事業費	19,320,000	18,778,618	541,382
消耗品費	100,000	100,414	▲ 414
義援金	0	0	0
雑費	100,000	94,643	5,357
積立金(橋積立金)	0	0	0
予備費	1,693,686	0	1,693,686
次年度繰越金	0	4,247,955	▲ 4,247,955
総計	32,967,686	32,921,210	46,476

### 積立金

科目	令和元年度当初予算	令和元年度決算	増減
同窓会基金	254,000,000	3,000,000	251,000,000
合計	254,000,000	3,000,000	251,000,000

## 令和2年度立正大学同窓会事業計画書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

事業	内容	
会議	①定期総会	6月20日（土）立正大学熊谷キャンパス → 中止
	②代議員会	5月16日（土）品川キャンパス → 中止 令和元年度事業報告案・収支決算報告案・監査報告・令和2年度事業計画案・収支予算案、 大学物故者法要について、ホームカミングデー in 橘花祭について、その他 ※議決については資料郵送により、書面にて行う予定。
	③理事会	第1回：4月中旬 → 中止・第2回：7月25日・第3回：10月24日・第4回：令和3年2月20日 他案件がある場合には随時随時開催
	④監査	第1回：6月16日（火）令和元年度決算監査 第2回：11月中旬 令和2年度中間監査
	⑤総務委員会	適時
	⑥財務委員会	適時
	⑦広報委員会	適時
	⑧事業予算合同会議	第1回：令和3年1月下旬 令和3年度事業計画案・収支予算案策定
	⑨活性化会議	適時
	⑩専門委員会（教職・女性）	適時
法要	立正大学物故者追善法要	6月15日（月）品川キャンパス532教室 → 中止
講演会	校友会主催講演会	6月20日（土）立正大学熊谷キャンパス（立正大学同窓会定期総会と同日開催） → 中止
広報活動	校友会報「たちばな」	校友会報「たちばな」の編集作業（年2回） *校友会との協働連携事業
	校友会ホームページ・ 生涯メール・Facebook	①ホームページ・Facebookによる広報告知 ②生涯メールサービスによる情報提供サービス
	卒業生への広報活動 在校生・卒業生への広報活動	①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス クラブ・サークル活動優勝・受賞時横断幕作製
構成団体活動	校友会	10月31日（土）ホームカミングデー協働連携開催・運営協力 校友会委員会の運営協力協働連携参加年4回（4月 → 中止・10月・12月・3月・臨時） 保護者懇談会への協働連携開催・運営協力
	学部同窓会・支部同窓会総会	学部同窓会・支部同窓会総会開催協力ならびに講演会講師派遣への協働連携開催・運営協力
在校生支援 （大学・学園への 賛助を含む）	大学・学園への賛助	大学・学園への賛助
	学生支援	在校生支援（課外活動顕彰助成）
	その他	その他学生支援
会員情報管理	収集・管理・運用（協働連携利用）	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用 新卒会員情報・既卒会員情報の更新および大学・校友会・同窓会協働連携利用 学園新聞・校友会報「たちばな」の発送および学部・支部同窓会事業・活動への会員データ提供
	その他	同窓会運営 代議員制による同窓会運営 学部同窓会助成費・支部同窓会助成費 学部同窓会・支部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 会員親睦・交流・活動への支援協力 休会支部支援及支部活性化支援 立正大学同窓会校友の集い開催 今年度は新型コロナウイルス感染拡大等を考慮して開催を中止。 支部同窓会地域連合制の検討（四国をモデルケースに活性化に力を入れる）

## 令和2年度立正大学同窓会予算書 （令和2年4月1日～令和3年3月31日）

収入の部 ※下記決算書は立正大学学園経理会計に基き作成。

科目	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	増減
構成団体助成費	24,275,000	24,500,000	▲ 225,000
預金利息金	15,000	10,000	5,000
雑収入・寄付金・募金	50,000	50,000	0
事業費収入	150,000	150,000	0
前年度繰越金	4,247,955	5,257,686	▲ 1,009,731
積立金繰入金	0	3,000,000	▲ 3,000,000
総計	28,737,955	32,967,686	▲ 4,229,731

※支出状況により取崩額を算出する為当初予算では取崩なしにしている。

## 支出の部

科目	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	増減
旅費交通費	1,700,000	5,700,000	▲ 4,000,000
会議会合費	110,000	3,374,000	▲ 3,264,000
通信運搬費	700,000	630,000	70,000
印刷製本費	500,000	780,000	▲ 280,000
委託費	1,089,000	1,090,000	▲ 1,000
手数料報酬	100,000	100,000	0
賃借料	80,000	80,000	0
事業費	21,140,410	19,320,000	1,820,410
消耗品費	80,000	100,000	▲ 20,000
義援金	0	0	0
雑費	80,000	100,000	▲ 20,000
予備費	3,158,545	1,693,686	1,464,859
総計	28,737,955	32,967,686	▲ 4,229,731

## 積立金

科目	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	増減
同窓会基金	251,000,000	254,000,000	▲ 3,000,000
合計	251,000,000	254,000,000	▲ 3,000,000

### 日韓を紡ぐ

文学部文学科 日本語日本文学専攻コース4年 宮木 快

この度はこのような賞を受けることができ、光栄に思っています。私は大学3年時「内閣府日本・韓国親善事業」と「駐日大韓民国第3期公式SNSサポーター事業」などの日韓親善活動に取り組んできました。この場を借りてなぜこの活動を行うのか、そしてこれからの展望を綴っていこうと思います。

まず、日韓活動に取り組むようになったきっかけですが、それは同級生との会話で出てきた「反日」という言葉に起因しています。韓国に親しみがあった私にとって、「その言葉は本当なのか？」と当時から懐疑的に思っていました。彼らの言うような「反日」はあるのか。疑念を晴らすために翌冬一人で韓国へ訪れました。実際韓国で過ごした4日間、「反日」を感じることは全くなく、道に迷っていた時に助けてくれるおじさんや屋台でお水をくれるおばさん、日本語で話しかけてきてくれるカフェのお兄さんなど、むしろたく

さんの「情」を感じました。言われていることと現実のギャップを実感した時、「このフェイクを正したい」と思うようになりました。それを解決するには多様な視点で韓国を知り、それを発信する必要があります。そうした中で2つの事業に参加し、活動が終了した今でもなお、韓国に関する発信を行ってきました。現在に至るまで日韓の関係は複雑ではありますが、平昌五輪スピードスケート女子の小平選手と李選手の報道や、日韓混合のアイドルグループが人気を博すなど明るいニュースも少なくありません。私はこのような明るいニュースと同時に韓国に関する文化・社会的な情報発信を通して日韓両国の理解を深め、結果として親善に結びつくような活動を進めていきます。

韓国親善活動の持続的参加、そして映像や写真を用いたコンテンツ配信によって日韓を紡いでいきます。

### 研究の道を目指して

地球環境科学部 環境システム学科 生物・地球コース 4年 小林 拳大



今回は第24回橘会奨励賞を頂きまして、大変に光栄な心持です。

初めから今回の様なご褒美を期待してはいたわけではありませんが、このようなかたちで自分たちの行ってきた様々な成果を評価して頂いたことは、恐縮ながらも率直に嬉しく感じています。

私は幼い頃から虫や魚といった生き物が大好きで、今では生物に関する勉強を環境システム学科でしています。また現在では将来的に生物学分野の研究者として活動していくことが目標となっています。この目標は入学当初から漠然とした願望としてあったものの、現在のように明確なものではありませんでした。

しかし私の在籍する学科の先生方のご配慮により、様々な研究会や学会に参加し、そこで発表を行う機会を多く得ることが出来たおかげで、研究者としての道を目指す腹が決まったように思います。

現在では自身の卒業論文として、環境DNA技術を用いた「ムサシトミヨ」という魚に関する研究を行っています。卒業論文以前にも助教の先生のお力をお借りして研究を行う場面があったものの、今改めて研究の大変さや難しさ、自分の力不足を痛感しています。

一方で、自分の研究が多くの人の善意によって支えられていることに気付くことも出来ました。それは卒業論文に限らず、今回評価して頂いた成果もしくりで、私一人では到底やり遂げることはできませんでした。

そしてまた今回橘会奨励賞を頂いたことも、私の知り得ない人々の尽力があり実現したものです。そう考えると私の名前でも賞を頂くのは気後れしてしまいましたが、こういった運びになったからには胸を張って受けたいと思います。

今後は橘会奨励賞の受賞者として自信をもって紹介して頂けるように、地道に精進していきたいと思っています。

## 令和元年度立正大学橘会事業報告書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業	内容
会議	定期総会・橘会奨励賞授与式懇親会 令和元年6月9日(日) 平成30年度事業報告・決算、令和元年度事業計画、予算審議、役員承認、平成30年度橘会奨励賞授与式 平成31年4月5日
	正副会長会議 令和元年6月9日
	常任理事会・理事会 令和元年度橘会奨励賞選考委員会(第24回) 令和2年3月2日
	橘会役員意見交換会 令和2年2月15日
令和元年度賛助会懇親会 令和元年11月3日(日) ホームカミングデーにて開催(場所 ホテルニューオータニ東京)	
講演会	会計監査 平成30年度決算監査：平成31年4月5日、令和元年度分中間決算監査：令和元年11月21日
	就職報告会 令和元年11月3日(日) ホームカミングデーにて開催 年4回「たちばな」・学園新聞、保護者懇談会開催報告等掲載(4月・7月・10月・1月)
広報活動	「たちばな」・学園新聞発行 年4回「たちばな」・学園新聞、保護者懇談会開催報告等掲載(4月・7月・10月・1月)
	ホームページ・Facebook 橘会からのお知らせ等
在校生支援	平成30年度橘会奨励賞授与式(第23回) 令和元年6月9日(日)(定期総会時)
	就職祈願御守配付 キャリアサポートセンターイベントにて配布
保護者支援	災害支援セット配付 新入生ガイダンスにて新1年生へ配付
	橘会カレンダー発行 平成31年4月に保証人住所宛に発送
校友会 保護者懇談会	令和元年6月9日(日) 品川会場：菊池会長、若林副会長、山岡副会長 出席 令和元年7月14日(日) 大阪会場：菊池会長 出席 令和元年8月24日(土) 盛岡会場：菊池会長 出席 令和元年8月25日(日) 長野会場：山岡副会長 出席 令和元年9月15日(日) 熊谷会場：菊池会長、若林副会長 出席
	令和元年9月28日(土) 広島会場：菊池会長 出席 令和元年10月6日(日) 札幌会場：若林副会長 出席 令和元年12月8日(日) 品川会場：菊池会長、若林副会長、山岡副会長 出席
	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく 会員情報の適切な収集・管理・運用
	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく 会員情報の適切な収集・管理・運用
	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく 会員情報の適切な収集・管理・運用
その他	

## 令和2年度立正大学橘会事業計画書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業	内容
会議	定期総会 令和2年10月18日(日) 予定 令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画、予算審議、役員承認 ⇒新型コロナウイルス感染症対策に伴い、対面での開催を中止し各議題について書面による議決に変更 必要に応じて開催予定
	正副会長会議 令和2年2月開催予定
	常任理事会・理事会 令和2年度橘会奨励賞選考委員会(第25回) 令和3年2月下旬予定
	橘会役員意見交換会 令和3年2月開催予定
講演会	令和2年度賛助会懇親会 令和2年10月31日(土) ホームカミングデーにて開催予定 ⇒新型コロナウイルス感染症対策に伴い、ホームカミングデー中止のため懇親会についても中止
	会計監査 令和元年度分決算監査：令和2年5月11日 令和2年度分中間決算監査：令和2年11月予定
広報活動	就職報告会 令和2年10月31日(土) ホームカミングデーにて開催予定 ⇒新型コロナウイルス感染症対策に伴い、ホームカミングデー中止のため報告会についても中止
	「たちばな」・学園新聞発行 年2回「たちばな」・学園新聞にて会長挨拶、奨励賞等掲載 橘会からのお知らせ等
在校生支援	令和元年度橘会奨励賞授与式(第24回) 令和2年10月18日(日)(定期総会時)予定 ⇒新型コロナウイルス感染症対策に伴い、定期総会中止のため授与式についても中止
	災害支援セット配付 令和2年4月に新1年生へ郵送
保護者支援	就職祈願御守配付 キャリアサポートセンターイベントにて配布予定
	橘会カレンダー発行 令和2年4月に保証人住所宛に発送
校友会 保護者懇談会	橘会会長、副会長の調整により各会場への出席を予定 ⇒新型コロナウイルス感染症対策に伴い、校友会保護者懇談会の対面による開催は中止
	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく 会員情報の適切な収集・管理・運用
その他	

## 令和元年度立正大学橘会収支決算書 (期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日)

### 【収入の部】

科目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	増減
校友会構成団体補助費	0	0	0
預金利息金	2,000	524	1,476
積立金取崩収入	0	0	0
雑収入・寄付金	0	0	0
前年度繰越金	173,847,726	173,847,726	0
総計	173,849,726	173,848,250	1,476

### 【支出の部】

科目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	増減
人件費(アルバイト)	0	0	0
旅費交通費	470,000	565,433	▲95,433
会議会合費	0	7,500	▲7,500
通信運搬費	0	65,788	▲65,788
印刷製本費	0	0	0
委託費	7,000,000	1,117,800	5,882,200
手数料報酬	10,286	3,688	6,598
賃借料	0	4,752	▲4,752
事業費	50,000	30,000	20,000
消耗品費	19,440	78,390	▲58,950
図書資料費	0	0	0
雑費	0	0	0
積立金	164,000,000	164,000,000	0
次年度繰越金	0	7,974,899	▲7,974,899
予備費	2,300,000	0	2,300,000
総計	173,849,726	173,848,250	1,476

### 【別掲】

銀行名	令和元年度	令和元年度決算額	増減
定期貯金(りそな銀行)	164,000,000	164,000,000	0
普通貯金(りそな銀行)	1,428,637	1,427,777	860
普通貯金(りそな銀行)	8,395,923	6,241,877	2,154,046
現金	25,166	305,245	▲280,079
合計	173,849,726	171,974,899	1,874,827

## 令和2年度立正大学橘会収支予算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 【収入の部】

科目	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	対前年度増減
預金利息金	1,000	2,000	▲1,000
積立金取崩収入	0	0	0
前年度繰越金	171,974,899	173,847,726	▲1,872,827
総計	171,975,899	173,849,726	▲1,873,827

### 【支出の部】

科目	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	対前年度増減
旅費交通費	100,000	470,000	▲370,000
通信運搬費	50,000	0	50,000
委託費	6,450,000	7,000,000	▲550,000
手数料報酬	5,899	10,286	▲4,387
事業費	50,000	50,000	0
消耗品費	20,000	19,440	560
雑費	0	0	0
積立金繰入支出	0	164,000,000	▲164,000,000
次年度繰越金	164,000,000	0	164,000,000
予備費	1,300,000	2,300,000	▲1,000,000
総計	171,975,899	173,849,726	▲1,873,827

## 令和元年度立正大学郵政会事業報告書

(期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

事業	摘要
総会および会議	1. 全国定期総会開催：令和元年6月22日 2. 全国郵便局長総会：5月18日～19日 3. 役員会・地方支部代表者会議・総会 6月22日 大学会議室 4. 役員会議：4月・6月・9月開催 各地方支部総会 東北支部総会開催
活性化および交流促進	会員相互の研鑽・交流・活動の支援 各支部相互連携強化 学内講座・研修会の開催 郵政グループ各社との情報交換
大学への支援協力 校友会参加協力	大学祭参加協力 ホームカミングデー参加協力 校友課・郵政学内講座等打合せ
広報活動	1. 学園新聞・校友会報・記事提供 2. 通信文化新報への記事提供（3回） （郵政情報誌）

## 令和2年度立正大学郵政会事業計画書

(期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業	摘要
同窓会運営	1. 役員会 2. 会則整備 3. 同窓会個人情報管理 4. 同窓会参加促進策
定期総会 卒業生の集い	1. 立正大学郵政会同窓会卒業生の集い 定期総会 2. 研修会
大学への支援・協力	1. 大学祭への参加・協力・助成
学生助成	1. 奨学援助
校友会参加・協力	1. 全国総会への参加 2. 役員会への参加
広報活動	1. 同窓会報発行

## 令和元年度立正大学郵政会決算書

(期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

### 〔収入の部〕

科目	令和元年度当初予算	決算額	増減
構成団体助成費	1,000,000	1,000,000	0
会費	700,000	598,000	102,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	10,000	▲10,000
繰越金	413,279	413,279	0
預金利息	5	2	3
総計	2,113,284	2,021,281	92,003

### 〔支出の部〕

科目	令和元年度当初予算	決算額	増減
旅費交通費	700,000	469,816	230,184
会議会合費	300,000	188,644	111,356
通信運搬費	90,000	72,150	17,850
印刷製本費	50,000	0	50,000
事業費	750,000	550,724	199,276
消耗品費	100,000	61,312	38,688
学生支援	100,000	34,728	65,272
雑費	284	3,179	▲2,895
予備費	23,000	640,728	▲617,728
総計	2,113,284	2,021,281	92,003

## 令和2年度立正大学郵政会収支予算書

(期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 〔収入の部〕

科目	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	増減
構成団体助成費	950,000	1,000,000	▲50,000
会費	400,000	700,000	▲300,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	0	0
繰越金	674,068	413,279	260,789
預金利息	2	5	▲3
総計	2,024,070	2,113,284	▲89,214

### 〔支出の部〕

科目	令和2年度当初予算	令和元年度当初予算	増減
旅費交通費	550,000	700,000	▲150,000
会議会合費	300,000	300,000	0
通信運搬費	100,000	90,000	10,000
印刷製本費	50,000	50,000	0
事業費	700,000	750,000	▲50,000
消耗品費	150,000	100,000	50,000
学生支援	150,000	100,000	50,000
雑費	5,000	284	4,716
予備費	19,070	23,000	▲3,930
総計	2,024,070	2,113,284	▲89,214

**【齋藤 吉勝 (ペンネーム=中澤 吉勝) 氏】**

1964年、宮城県生まれ

1987年、立正大学文学部国文学科卒業。

卒業後は仙台の業界新聞記者、宮城県公立中学校国語科教諭を経験。現在も仕事のかたわら、『雨月物語』の研究、小説等の執筆を続けている。

**【問合せ先】** yoshimasa1964@outlook.jp**【主な著作品】** (AmazonKindleにて購読できます)前向きに躁うつ病を生きる  
¥500上田秋成とジェイムズ・ジョイスの比較文学的考察  
¥800思考する射手座  
¥800ちやいたんの法則  
¥300**【あらすじ紹介】****「前向きに躁うつ病を生きる」**

「躁うつ病」を抱える著者が、これまでの自らの20年間の病歴をふり返り、今日増え続けている《精神疾患の患者》を励ます、『生々しい渾身の病歴体験エッセイ』。

**「上田秋成とジェイムズ・ジョイスの比較文学的考察」**

筆者がこれまで多大な影響を受けた2人の偉大な天才作家、日本近世文学の読本作者「上田秋成」と20世紀アイルランドの最大の小説家「ジェイムズ・ジョイス」。この国も時代も全く異なる作家の生い立ち・青年期・壮年期・晩年期の共通項を探りながら、『雨月物語』と『ユリシイズ』の謎と魅力に迫る力作。

**「思考する射手座」**

ある10月の眠れぬ夜、病をかかえた主人公の&lt;オレ&gt;は、様々なことがらを妄想する。これまでの仕事や家族、未来への不安、「宇宙」、「生死」、「神」等……。妄想は妄想を繰り返し、らせん状に&lt;オレ&gt;の独白（モノローグ）は果てしなく続いていく。古典や小説、哲学書、宮澤賢治などの文学論とその思い出、自分の「卒論」から「人間のあるべき姿や生き方」、「脱原発」、そして「現代日本が抱える憂国論」に至るまで、妄想は明け方まで続いていく。

**「ちやいたんの法則」**

主人公の「ちやいたん」（国助）は、30年ぶりに元中学校の生徒だった教え子たちの同窓会に招かれる。そこで国助は、かつて自分が国語の授業で伝授した高校の国語科入試問題必勝法を、元教え子たちがいまだに覚えているのに驚愕し、感動する。果たして、その必勝法とは？そして、国助が最後に生徒に伝えたかったメッセージとは？

## INFORMATION

**立正大学生涯メールサービス  
に関するご案内**

立正大学では、卒業生・修了生が卒業後も使用出来るメールサービスを行っております。

同窓生同士の交流を始め、大学との情報交換等にご利用頂ければと存じます。

メールサービスは無償・永年利用となります。

ただし、生涯メールサービスのお申込を頂きました後、1年間メールサービスへのログインが無かった場合には、利用を停止させていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

なお、メールサービスのご利用を再開希望の場合には学長室校友課へご連絡ください。利用再開のお手続きを取らせて頂きます。生涯メールサービスの利用につきましては、校友会ホームページも併せてご参照ください。

**【問い合わせ先】** 学長室校友課03-3493-6673**校友会会員情報について**

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等のご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

**変更届の内容**

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- 
- ◆メールアドレス ◆勤務先・職業

\*変更に関するご連絡頂きます場合には、校友会会員番号（校友会報・学園新聞宛名ラベル番号）を併せてお知らせ下さい。

**お問い合わせ・お届け先**

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎03-3493-6673 FAX:03-3493-9068 Email:alu@ris.ac.jp

■専用紙は立正大学校友会ホームページ

<https://alumni.rissho.jp/inquiry/data.html>

からダウンロードできます。

**お知らせください**

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記学長室校友課までご連絡ください。

**教職員訃報**

【令和2年3月6日～令和2年8月31日】

非常勤講師 藤田 精一 氏 (令和2年8月11日 逝去)  
謹んで哀悼の意を表します

発行者

発行人

編集

電話

URL

立正大学校友会

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

立正大学長・校友会長 吉川 洋

立正大学学長室校友課

03-3493-6673

<https://alumni.rissho.jp/>